

目 次

(1) OFIXからのお知らせ

■ 公益財団法人に移行しました。これからもよろしくお願いします！

■ (公財)大阪府国際交流財団における平成24年度事業について

(2) 事業紹介

■ 外国人相談の平成 23 年度の状況

(3) 募集案内

■ コミュニティ通訳ボランティア研修開催のお知らせ

■ 安藤基金・大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘プログラム 平成24年度研修生募集案内

(4) OFIX 国際交流員のレポート

■ ホーリー・ウィーク

(1) OFIXからのお知らせ

■ 公益財団法人に移行しました。これからもよろしくお願いします！

日頃からの当財団事業へのご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では、公益財団法人への移行に向けて取り組んでまいりましたが、このたび、大阪府から公益認定を受け、この4月1日付で公益財団法人へ移行しましたのでお知らせ申し上げます。

移行に伴い、「公益財団法人 大阪府国際交流財団」と改称いたしましたので、併せてお知らせいたします。なお、住所、電話番号、Eメール等の変更はございません。

皆さまからのこれまでのご支援・ご協力に御礼を申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ (公財)大阪府国際交流財団における平成24年度事業について

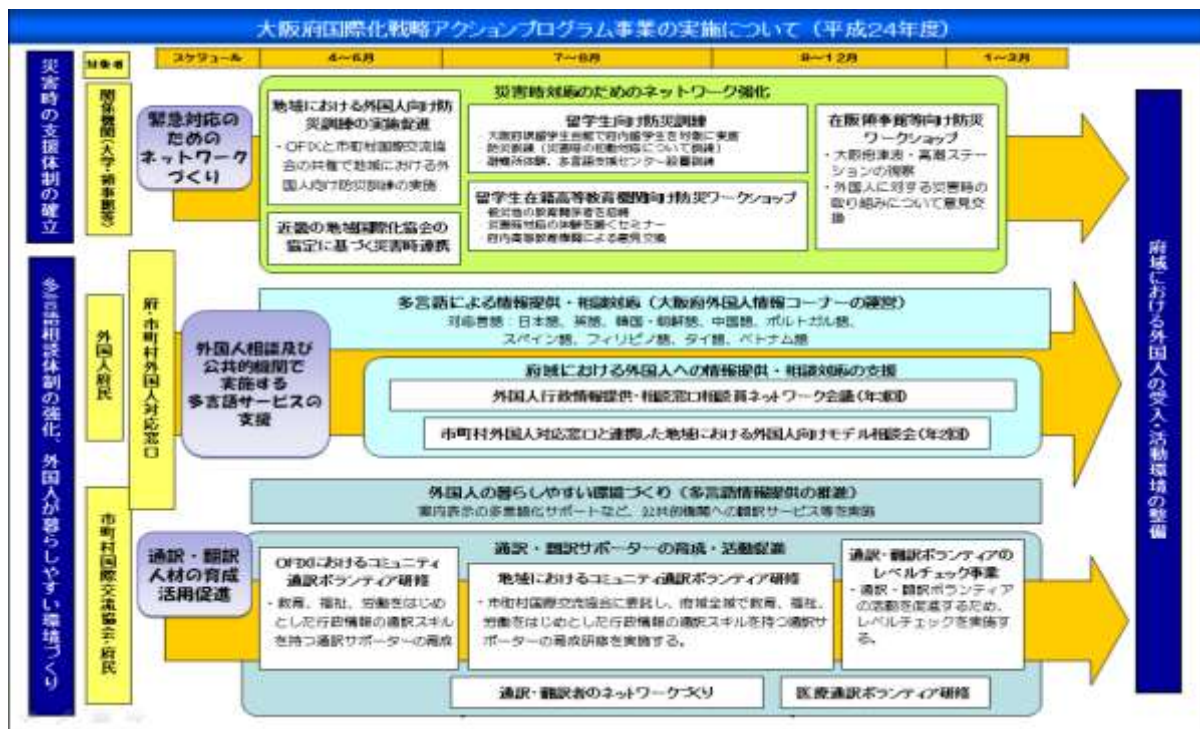
当財団では、今年度も引き続き、大阪府とともに大阪府国際化戦略アクションプログラムの推進に取り組みます。

既に「おおさかグローバル塾」では、96名の入塾生

が決定し、4月15日、22日にそれぞれ米国向け、英国向けの入塾式も執り行われました。



また、今年度は災害時の外国人支援体制の整備にも努めることとしています。関係機関とのセミナーやワークショップを通じ、連携体制を強化するとともに、外国人府民や通訳・翻訳ボランティアの皆さまとの事業も計画しております。また、地域での外国人への多言語支援を促進するためのコミュニティ通訳研修も5月から開催いたします。事業の開催は、当財団のホームページで順次お知らせしていきますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



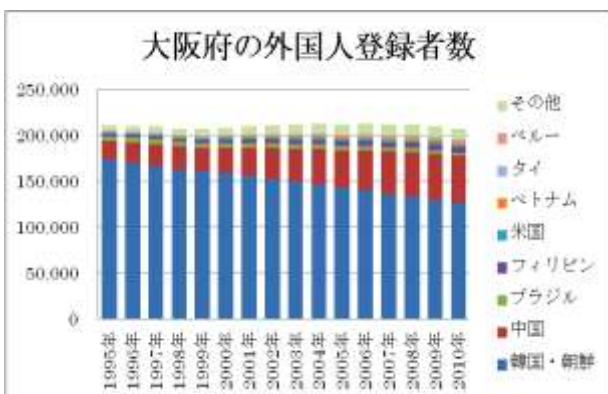
(2) 事業紹介

■平成 23 年度大阪府外国人情報コーナー相談実績データ

在住外国人の方々に対して、生活関連情報の提供や相談に応じるため、平成 5 年 9 月から「大阪府外国人相談コーナー」として大阪府が開設していましたが、平成 21 年 4 月から「大阪府外国人情報コーナー」として当財団に業務委託されています。

開設以来 18 年間の経過しておりますが、その間、大阪府の国際化を巡る状況は大きく変化しています。大阪に住む外国人の方の国籍も 160 カ国以上と多岐にわたり、外国人登録者数は約 21 万人となっております。

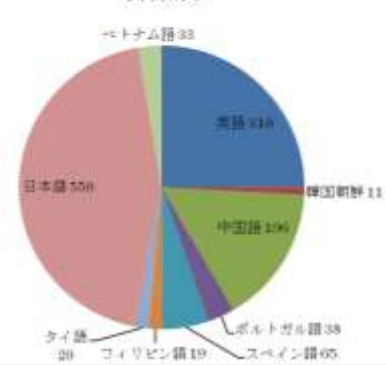
平成 23 年度の相談件数は 1242 件でした。この内訳を国籍・言語・内容毎に集計しています。



そのように様々な国から来られた外国人の方が生活上必要な情報を母国語で入手できるようにと、当コーナーでは英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、そして日本語で平日毎日 9 時から 5 時 30 分の時間帯で対応しています。ホームページでも生活ガイドとして「生活必携」、より詳しく制度などを解説している「よくある質問集 (FAQ)」を掲載しています。

<http://www.ofix.or.jp/life/index.html>

言語別

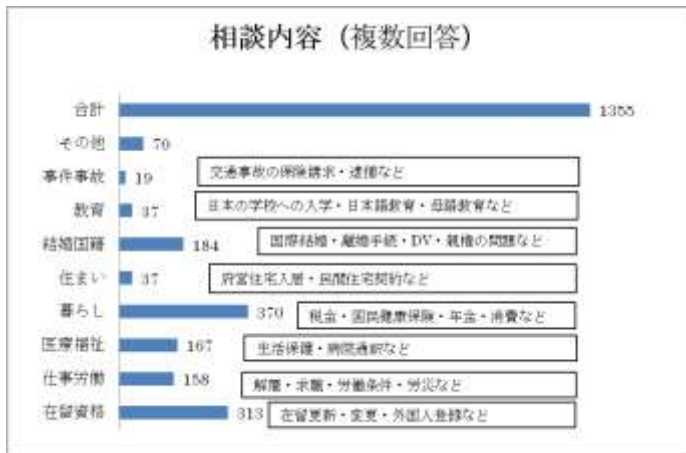


国籍別



相談者の国籍では、日本人に次いで中国籍が最も多く、全体の約 20% を占めています。欧米英語圏の相談者が約 11%、ブラジル人、ペルーなどの南米スペイン語圏、およびフィリピン人がそれぞれ 5% を占めています。言語としては、日本語を用いた相談が 550

件と最も多いのですが、この内、外国人の方は約 37% を占めており、外国人の定住化が進む中で日本語を習得されてきつつあるのが伺えます。やさしい日本語を用いて説明することの重要性を再認識させられます。しかしながら、一方で外国人の相談者(897名)の73% はやはり日本語以外の言語を用いての相談を望まれています。英語、中国語以外の他言語では 156 件となっており、特にスペイン語の相談が昨年度は減少していたのが今年は例年のレベルに戻ってきています。英語を使用して対応するケースの半数以上が英語を母国語としない国の方になっており、平易な英語での情報発信も同様に大切です。



暮らしと在留資格に関する相談がそれぞれ全体の約 25%を占めています。暮らしの項目では、税金、国

民健康保険、年金など納付に関することや制度自体の内容について、詳しい説明を求める相談が多く見受けられました。日本語が理解できる日本人にとっても 1 度聞いただけではわかりにくい複雑な制度もあります。ましてや外国人の方にとって理解が困難なこともありますが、利用できるサービスがあるにも関わらず、情報がなかったために、不便・不利なことがないように、多言語での情報提供機関の周知も必要です。また在留資格に関しては、今年の 7 月に導入される新たな入管法に関する問合せが徐々に増えており、外国人の間でも新しい制度に関する情報が浸透してきているのが伺えます。婚姻・国籍に関する項目では家庭内暴力の被害者や当事者の入所先からの相談や通訳依頼、配偶者が行方不明の場合の離婚の手続きなど深刻な相談も多くあります。関係機関との連携が必要な分野の一つです。また日本人の子どもを外国人夫婦が養子縁組したいという問合せが何件か見られました。医療・福祉の項目では生活に困窮した外国人の方からの相談や問い合わせが多く、景気の悪化が外国人の方の生活に大きく影響していることが伺えます。

◎大阪府外国人情報コーナー

(月～金曜日(祝日を除く))

(対応時間:9:00～17:30)

専用電話:06-6941-2297 FAX:06-6966-2401

E-mail: jouthou-c@ofix.or.jp

対応言語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

(3) 募集案内

■コミュニティ通訳ボランティア研修開催のお知らせ

大阪府に在住されている外国人の方々が、言葉の障壁を越えて安心して暮らせるように、外国人の方の市役所などでのコミュニケーションの橋渡

しをするコミュニティ通訳を養成するため、下記の要領で研修を開催します。

【日程】※講座の内容は変更になる場合がございます

	日程①	日程②	テーマ
1 日目	5 月 22 日(火)	5 月 24 日(木)	
	18:10～18:30	13:40～14:00	OFIX 語学ボランティアの活動について
	18:30～19:20	14:00～14:50	コミュニティ通訳の基本と通訳者としての心構え
	19:30～20:40	15:00～16:10	ケーススタディ
2 日目	5 月 26 日(土)	5 月 30 日(水)	
	9:40～11:00		在留資格について
	11:10～12:30		DV 被害者支援制度について
13:30～16:00		通訳トレーニング	
3 日目	6 月 2 日(土)	6 月 6 日(水)	
	9:40～11:00		外国人児童の受け入れについて
	11:10～12:30		母子保健について
	13:30～16:00		ロールプレイ

【場所】 マイドームおおさか 8 階会議室

【対象者】

・日常生活に必要な言語運用能力「日本語+外国語(外国人の方は母語)」を有する方

・原則として 3 日間の研修に出席できる方 等

※OFIX 主催の平成 23 年度コミュニティ通訳ボランティア研修に参加した方は応募ができません

※言語は限定しません(ロールプレイの関係上、参加希望者が 3 人に満たない言語については、研修の実施を見送ることがあります)

【募集定員】 60 名程度:各日程 30 名程度ずつ(国籍不問、応募者多数の場合は抽選)

【募集締切】

2012 年 5 月 6 日(日) 必着(※応募状況によっては、締切を前後する可能性もあります)

募集要項と申込書は、OFIX のホームページの最新情報からダウンロードすることができます。

詳しくは <http://www.ofix.or.jp/>

このプログラムは1992年5月、大阪が世界に誇る建築家・安藤忠雄氏が、デンマーク・カールスバーグ社の世界の建築の発展に貢献した建築家を顕彰するため創設した「国際建築家賞」(第1回)を受賞されました。副賞の3,000万円を大阪と海外の文化交流に役立てたいとお気持ちから、この副賞賞金全額を大阪府に寄贈されました。大阪府国際交流財団では大阪府を通じて安藤忠雄氏による寄付金を受け取り、安藤忠雄・カールスバーグ賞受賞記念事業として、「大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業」を発足いたしました。当事業の趣旨に賛同された賛助会員の皆様によってもたらされた賛助会費を活用して毎年、建築・芸術を専攻している学生、又は建築家をアジア各国より8名から10名程度大阪に招き、秋に約1ヶ月間の研修を行っています。1993年から始まったこの事業も今年で20回目を迎え、これまでに19カ国・地域から177名を招聘してきました。研修中は各自が日本を代表する建築会社にて10日間程の企業実地

研修も組み込まれており、建築中の現場視察や最新技術についての説明などを受ける体験をして頂きます。その他に、日本の学生とのディスカッションや、大阪及び京都でのスタディツアー、安藤忠雄氏設計建築物視察などが盛り込まれております。

研修以外にも国際交流を深めていただくために1泊2日の日本人の家庭でのホームステイを体験していただけます。このホームステイも毎年研修生から日本人の家族との生の交流が出来ることでも好評です。

OFIX では今年度もアジア各国・地域から8名の研修生を募集いたします。本年度のスケジュール、募集要項などはこちらをご覧ください。

<http://www.ofix.or.jp/aprogram/overview.html> (日本語)

<http://www.ofix.or.jp/english/aprogram/overview.html> (英語)

(4) OFIX 国際交流員のレポート

■ホーリー・ウィーク(聖週間)

こんにちは！ OFIXの国際交流員のアルピンです。やっと暖かくなってきましたね。桜もやっと咲きました。私は桜を見ることができて、皆さんも花見に行けたでしょうか。さて、暖かくなったと言っても日本はまだまだ涼しいですが、フィリピンは今「夏」で、とても暑いです。それで、フィリピンでこの時期に行う一番有名な行事を紹介したいと思います。



フィリピンの 80% -85%はカトリックで、多くの主な祭り行事はフィリピン人の信仰と関係しています。その一つの主な行事は 4 月ごろに行っているホーリー・ウィーク(聖週間、あるいは、受難週)です。このホーリー・ウィークはフィリピン人にとってとても重要なイベントで、ほとんどの店は閉まっているし、放送していないテレビ局もあります。もし、テレビ番組が放送されていてもキリストの受難に関する番組ばかりです。

ホーリー・ウィークはイースターの日前の1週間前から始まります。(イースターはキリストの復活を記念するキリスト教の祝日です。春分後の最初の満月の次の日曜日に行われます。)ホーリー・ウィークの最初の日には「パーム・サンデー(Palm Sunday)」(復活祭直前の日曜日)です。この日に信者たちはヤシの葉を教会に神父さんに聖別してもらいに持って行きます。ミサが終わったらそのヤシの葉を家に持って帰り

アと窓のところに魔よけとして飾ります。「パーム・サンデー」の後は「モーディ・サースデー(Maundy Thursday)」= 聖木曜日です。この日は洗足木曜日、最後の晩餐およびキリストが弟子たちの足を洗ったことを記念する日です。次は「グッド・フライデー(Good Friday)」= 聖金曜日です。この日はフィリピンでは祝日です。この日に様々なことが行われます。信者たちが教会から荷車に乗せたキリスト、マリア等の像を引っ張って、決まったコースを進行します。多くの信者が参加するので、長い行列になります。外国人にとってこの日に行う一番気になることはキリストの受難の再現でしょう。よく見かけるのはキリストの格好をしていて自分をむち打ったり、十字架を背負って歩いたり、十字架につけられたりした姿の男たちです。とてもショッキングなのは男たちがただのまねごとをしているわけではありません。本当に自分をむち打っていて、十字架につけられています。しかも、十字架につけられる時は縄で縛られるのではなく、本物の釘でつけられます。なぜこんなことをやるかということ、自分の罪を悔いあらためている誠実さを証明したいからです。

次日は「ホーリー・サタデー」= 聖土曜日、「ブラック・サタデー」とも呼ばれます。この日に何か特別にするわけでもありません。キリストの受難を覚えて、次の日、イースター・サンデーのために準備します。イースター・サンデーはキリストが復活した日として祝います。

寒い日本を退屈しているのであれば、ホーリー・ウィークを経験しにフィリピンに行ったらいかがでしょうか。マニラより田舎のホーリー・ウィークをお勧めします。

- ◎ OFIX ニュースについてのご意見、ご感想はこちら info@ofix.or.jp
- ◎ 大阪国際クラブの会員の皆様からの海外レポートはこちら clubnews@ofix.or.jp
- ◎ バックナンバーはこちら <http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

☆☆

発行:(公財)大阪府国際交流財団(OFIX)
 〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2-5 マイドームおおさか 5 階
 TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401 ホームページ: <http://www.ofix.or.jp>
 ☆☆☆

